

令和5年度 第1回 小平南東部地域コミュニティタクシーを考える会

- 開催日時：令和5年5月11日（木）14時10分～15時30分
- 開催場所：小平市役所 505会議室
- 出席人数：・小平南東部地域コミュニティタクシーを考える会……………5人（欠席13人）
 - ・傍聴…なし

1 挨拶・自己紹介・進行役の選出

出席者の挨拶及び自己紹介を行い、進行役に嘉悦大学の和泉教授を選出

2 令和4年度コミュニティバス・コミュニティタクシー乗車実績について（報告）

（資料1—①）

（資料1—②）

○公共交通課から資料に基づき説明

◆ 意見等

運行ルートについて

- ・コミュニティタクシー鈴木町ルートの乗車人数に増加が見られる。乗り換えしても市役所周辺や花小金井南町周辺につながルートがあると、さらに利用が増えると考えられる。
- ・コミュニティタクシー鈴木町ルートの時間帯別の利用状況のデータを持っているか。利用が少ない時間帯の便を運休し、小平団地経由で市役所を通るルートで運行すると、さらに利用が増えるのでは。
- （公共交通課）時間帯別の利用状況の報告は受けている。朝夕は利用が多く、14時過ぎ頃が比較的少ない。
- ・鈴木町は中央エリア（市役所周辺）への交通手段が少なく、行く場合は、路線バスやコミュニティバスに2回乗り換えるので、直接行くことができると非常に便利になる。
- ・市役所へのルートがあれば、運行便数が少なくても利用する。
- ・ルート変更することで、既存の利用者が不都合となる場合があるので、新規でルートを設定した方が良く考える。

道路交通事情等について

- ・渋滞による遅れは増えているか。
- （運行事業者）新小金井街道の渋滞は増えている。新たに道路が整備されたが、渋滞は解消されていない。
- ・西武線の鉄道立体化を進めて欲しい。踏切が無ければ、道路がスムーズに流れると思う。
- ・コミュニティタクシー鈴木町ルートの周囲は、宅地開発やマンション開発が盛んな地域だが、利用状況等に影響はあるか。新しい住民の方は、コミュニティタクシーについて知らない人も多いのではないか。
- ・コロナ禍後の状況や宅地開発に合わせて、新たに第一歩という考え方で、利用促進から初めていくと良い。

利用状況について

- ・コミュニティタクシー鈴木町ルートは、コロナ禍から利用者数は回復してきたが、1日平均乗車人数70人は他ルートに比べると多くはない。
 - ・コミュニティタクシーは車内が狭いため、コロナウイルスの感染が怖いと思う人もいるが、徐々に利用が戻ってくると考えている。
- （公共交通課）新しい生活様式が定着してきていることも、完全に利用が回復していない要因だと考えられる。
- ・以前、コミュニティタクシーの停留所がよく見かけていた方も、家に居ながらネットで注文していたり、施設に入っていたりなど、年数が経つと状況も変わってきている。
- （公共交通課）コロナ禍前までは、コミュニティタクシー鈴木町ルートも順調で、平成30年度は1日平均乗車人数90人台まで伸びていた。コロナ禍で令和2年度は50人まで減り、最近回復してきた。
- ・他のルートも戻っていないので、コロナ禍で市民の生活のスタイルが変わってきたのでは。

地域の実情等について

- ・コミュニティタクシー鈴木町ルートの実証実験やルート設定をした際、思いや要望はあったが、車両制限令など、色々な法律の規制により、運行が実現しなかった地域があった。
- ・回田町や御幸町は道路が狭いため、コミュニティタクシーを通すことができなかった。高齢者になると、自動車運転免許証の返納を決断する難しさについて実感する。運転できないことで生活が大きく変わってしまう。自動車で行っていた場所に、公共交通機関を乗り換えてでも行ける手段があれば、自動車運転免許証の返納がしやすい。そのため、コミュニティタクシーのルートがあると非常に有り難い。
- ・武蔵野団地や小平第八小学校付近は、坂が多く道路も狭いので、必要な箇所にコミュニティタクシーが通れない。また、高齢者が多いため、公共交通を必要としている地域である。
- ・長距離を歩くことが難しい方が中央公民館に行く場合は、花小金井駅まで行き、電車で小平駅に行き、コミュニティバスで行くことになるため、1便でも良いので違うルートを通るものがあると良い。

デマンド型交通について

- ・細かいニーズに対応できるのは、デマンド型交通になるのか。南西部地域の状況はどうなっているか。
- （公共交通課）南西部地域は、目的地が分散しており、狭い道路が多いなどの地域の特性から、コミュニティタクシーのルート設定が難しく、実証実験等の結果、継続運行に移行できなかった。現在は、新しい交通手段として、デマンド型交通について検討している。
- ・デマンド型交通もコミュニティタクシーと同様に運行ルートの設定が必要か。
- （公共交通課）運行ルートを設定する必要はないが、予約に応じて設定した乗降場所間を乗り合いで運行する。
- ・コロナ禍前に、武蔵野団地の方から、花小金井駅へ接続するデマンド型交通が欲しいという声を聞いている。

- ・時間帯別で運行地域を区切っても良いが、市全体を運行地域とした、デマンド型交通があれば良いと考える。
 - ・一般的なタクシーと、デマンド型交通は別物であり、乗り合いが受け入れてもらえるかが課題である。コロナ禍前に、西東京市で乗合タクシーの実証実験を行ったが、乗り合いを嫌がる人が多かったと聞いている。
- (公共交通課) 乗合率が下がると、運賃収入が低下することから、1回の運行時間を短くして、乗車回数を増やす必要がある。そのため、市全体を運行エリアにすることで、効率的な運行が困難となる。

3 運行を支える取組について

○公共交通課から説明

- ・新しい生活様式が定着しているため、コロナ禍前の水準に戻ることは難しく、物価や人件費も高騰していることから、運行経費に対する市の補助金額が増加している。
- ・利用促進活動等について、コミュニティタクシーを考える会において、何度か意見を伺ってきたが、今年度からは具体的に検討していきたい。

○以前に出た意見を抜粋して説明

利用促進策について

- ・地域や商店とイベント等でのPR
- ・地域の集まりや口コミで、コミュニティバス、コミュニティタクシーの認知度向上のPRや便利な乗り方を周知

運賃以外の収入の確保について

- ・停留所名、車両のラッピング広告
- ・協賛金の募集

◆ 意見等

周知・PR方法について

- ・自治会には、市からチラシなどを送付し、回覧しているため、自治会に入っていない方に絞り戸別配布等を行うと、効果的であると考えます。
- ・新しく宅地開発した地域は、自治会に入るよう働きかけをしてもらい、若い方に自治会に入ってもらった。
- ・自治会に入るなどのきっかけがあると、地元で一緒に活動する感覚が養われる。
- ・鈴木町1丁目・2丁目自治会は、範囲が広く街道筋を中心に昔からの農家の方が多いので、昔から住んでいる方と新しい方の仲介が必要である。

市の補助金・運賃について

- ・市の運行経費への補助金額は。

- （公共交通課）当初は、500万円程度を想定していたが、コロナ禍で乗車人数の減少や人件費・物価高騰の影響で700万円近くになっている。市の公費負担の考え方について、人件費や物価高騰の影響を踏まえ、地域公共交通の基本方針を策定する中で検討している。
- ・運賃150円で、1人当たり400円近い市の補助金が出ている状況がある。
- ・抜本的に運賃体系を変え、土日に運行する場合は、150円に経費分の運賃上乗せや定期券を導入するなど、500～600万円の公費負担に少しでも近づくように工夫してはどうか。
- また、その工夫の取組を市民や利用者に訴えることで、理解も深まると考える。
- ・バス等乗り換える場合に、運賃の支払いが一度であれば、乗換えの抵抗感が少なくなり、より利用しやすくなる。
- （公共交通課）現在、コミュニティバス・コミュニティタクシーのみではあるが、3回分の運賃で1日乗り放題になる1日乗車券を販売している。
- ・定期券があると、乗らないと損だという気持ちになるため、利用人数は増えると考え。
- ・東京都と連携し、様々な路線バスに乗ることのできるシルバーパスが使えると良い。
- ・武蔵野市のムーバス（コミュニティバス）は、黒字路線で別ルートの子線を補填している。
- また、運行ダイヤが10分に1便の路線があるため、時刻表を気にせずに乗ることができる。（運行事業者である）関東バスのバスロケーションシステムも導入されており、非常に使いやすい。

その他意見等

- ・自らが高齢者になり、自動車運転免許返納や自転車を控えるように周りから声を掛けられるようになることで、コミュニティタクシーのありがたみをさらに実感している。
- ・「（仮称）小平市の地域公共交通の基本方針」は、既にあるものか。
- （公共交通課）現在検討中で、令和6年3月策定予定である。
- ・鈴の木台自治会の方は、コミュニティタクシーを便利に利用している。一方で西武バスが、ルート変更を行い、武蔵小金井駅に向かうバスが松ヶ丘住宅入口等を回るようになってから、目的地に行くまでの時間が大幅に掛かるようになった。

4 バスとタクシーのひろば in 小平 2023 について

○公共交通課から説明

◆ 意見等

- ・例年の来場者数は。
- （公共交通課）令和4年度は、約3,500人が来場した。
- ・このイベントのために、コミュニティバス等を走らせる予定はあるか。
- （公共交通課）小平市では送迎等を行わないが、花小金井駅からは都営バスが運行し、小平駅南口からは、西武バスの小平営業所行の通常の便に加え、臨時便を運行する。
- ・降車停留所はどこか。
- （公共交通課）中宿停留所である。時刻表は市のホームページに掲載している。

5 その他

- ・次回の開催は、例年と同じく7月頃を予定している。